

野木町 議会 だより

第136号
令和4年2月1日

令和3年12月定例会
10月／11月臨時会



拡幅された南の玄関口・県道野木古河線

(国道4号線野木交差点から南を望む)

会期日程・議案の審議結果	②～③
主な議案ピックアップ・討論	④～⑥
委員会レポート	⑦～⑧
一般質問	⑨～⑮
賛否の分かれた案件・議会の主な活動	⑯

令和3年 第8回 野木町議会定例会

12月3日から10日までの8日間の会期で12月定例会を開会しました。
本会議では、町長から提案された議案12件（追加議案1件含む）及び議員提案の議案2件を審議しました。各議案の審議結果は次のとおりです。

会期日程

12月 3日(金)	本 会 議
12月 4日(土)・5日(日)	休 会（議事調査日）
12月 6日(月)	一般質問/予算決算常任委員会
12月 7日(火)	一般質問/総務経済常任委員会
12月 8日(水)	文教民生常任委員会
12月 9日(木)	休 会（議事調査日）
12月10日(金)	本 会 議

12月定例会議案審議結果

議案番号	件 名	賛成・反対	議決結果
第 1 号	野木町国民健康保険条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
第 2 号	野木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
第 3 号	令和3年度野木町一般会計補正予算(第8号)	賛成多数	可 決
第 4 号	令和3年度野木町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成	可 決
第 5 号	令和3年度野木町介護保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成	可 決
第 6 号	令和3年度野木町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全員賛成	可 決
第 7 号	指定管理者の指定 ※あかつか児童センター及び新橋児童館	賛成多数	可 決
第 8 号	町道路線の廃止及び一部廃止	全員賛成	可 決
第 9 号	小山広域保健衛生組合規約の一部変更	全員賛成	可 決
第10号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第11号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	全員賛成	適 任
第12号	野木町議会基本条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
第13号	野木町議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
追加議案 第 1 号	令和3年度野木町一般会計補正予算(第9号)	全員賛成	可 決

※色付きの案件は賛否が分かれたものです。賛否の詳細は16ページに掲載しています。

令和3年 第6回 野木町議会臨時会

10月18日に10月臨時会を開会しました。
町長から提案された議案1件を審議しました。審議結果は次のとおりです。

10月臨時会議案審議結果

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第1号	令和3年度野木町一般会計補正予算(第6号)	全員賛成	可決

令和3年 第7回 野木町議会臨時会

11月30日に11月臨時会を開会しました。
町長から提案された議案1件を審議しました。審議結果は次のとおりです。

11月臨時会議案審議結果

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第1号	令和3年度野木町一般会計補正予算(第7号)	全員賛成	可決



気になる議案をピックアップ!

議案第 3 号

1 億 1,991 万円

令和 3 年度野木町

一般会計補正予算 (第 8 号)

●ふるさと応援寄附金事業 (265 万 9 千円)

ふるさと納税の件数の増加見込みに伴う支出の増額に関する予算措置です。

※返礼品のうち、野木町のトマトやトウモロコシはふるさと納税サイトで上位になっています。

●新型コロナウイルスワクチン接種関連経費 (807 万 6 千円)

新型コロナウイルスワクチン 3 回目接種関連費用として、予約システムの継続利用やディープフリーザー対応蓄電池の購入、医療機関への個別接種協力金等の経費に充てるものです。

●新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対する生活支援 (10 万 8 千円)

新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対する生活支援として、食料品の提供を行うものです。

●野木中学校防犯カメラ設置工事 (129 万 8 千円)

いちご一会とちぎ国体の開催に伴い、防犯カメラを 2 台設置するものです。

●GIGA スクール構想関連教師用タブレット購入等 (1,573 万 5 千円)

GIGA スクール構想の本格運用にあたり、昨年度整備した教師用の不足分タブレット端末 50 台の購入費及び利用設定業務に係る費用です。

※上記の他、19 の事業と職員給与費等の増減がありました。

議案第 7 号

指定管理者の指定

野木町立あかつか児童センター及び新橋児童館の指定管理者について、平成 31 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの指定期間が終了することから、公募のあった 3 社の中から指定管理選定委員会が選定を行なった結果は次のとおりです。

その指定について条例に基づき議会の議決を得るものです。

なお、利用者の利便性の向上や施設管理の運営の効率化などを鑑み、施設ごとではなく、一本化した指定管理となっています。

〈指定管理の概要〉

・ 指定管理者となる団体

シダックス大新東ヒューマンサービス (株)

・ 指定の期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

議案第 9 号

小山広域保健衛生組合理約の一部変更

小山市、下野市、野木町の地域において、小山広域保健衛生組合が共同処理している結核検診に関する事務について、令和 4 年 4 月 1 日から下野市が独自に実施することとなったことに伴う、規約の変更です。

議案第 10 号

固定資産評価審査委員の選任につき

同意を求めること

委員の任期満了に伴い、委員の選任について同意を求めるものです。

岡部 健一 氏 (再任) 大字中谷在住

議案第 11 号

人権擁護委員の推薦につき

意見を求めること

委員の任期満了に伴い、委員の推薦について意見を求めるものです。

岩崎 安一 氏（再任） 大字南赤塚在住

追加議案第 1 号

令和 3 年度野木町

一般会計補正予算（第 9 号）

●子育て世帯等臨時特別支援事業

(1 億 8,971 万 3 千円)

子育て世帯（年収 960 万円を超える世帯を除く）に 18 歳以下 1 人当たり 10 万円相当の支援を行うとされた事業のうち、年内に 5 万円の現金給付を行なうための事業費に充てるものです。令和 4 年春に向けて 5 万円相当の支援を行なう事業費は含まれていません。

なお、歳入は全額国庫補助金になります。

・対象者（児童）：約 3,750 名

（平成 15 年 4 月 2 日～令和 4 年 3 月 31 日生まれ）

※この議案可決後、令和 4 年春に給付を予定していた残り 5 万円分の事業費に関しては、12 月 20 日に補正予算(第 10 号)を専決処分(*)し、10 万円を一括給付することに変更となりました。

(*) 専決処分とは…？

地方自治法第 179 条の規定により、下記の場合に町長が議決すべき事件を処分することができるものです。

- ・議会が成立しないときや必要な時機までに議会の議決を得られないとき
- ・緊急を要し議会を招集する時間的余裕がないとき
- ・議会において議決すべき事件を議決しないとき

10月臨時会

議案第 1 号

1,500 万円

令和 3 年度野木町

一般会計補正予算（第 6 号）

新型コロナウイルス感染症関連事業として、町内中小企業を応援するための補助金等の交付に充てるものです。

①野木町中小企業事業継続応援金

(1,050 万円)

令和 3 年 4 月～9 月の間に国の月次支援金、栃木県の地域企業応援一時金、地域企業継続支援金の給付要件を満たした事業者に対して応援金を交付するものです。

②野木町とちまる安心認証取得支援補助金

(150 万円)

栃木県が実施する飲食店への感染症防止対策認証制度「とちまる安心認証」を取得した事業者に補助金を交付するものです。

③野木町中小企業新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援金 (300 万円)

令和 3 年 4 月～9 月の国、県及び町の売上減少支援対策を受け、引き続き 3 密を避ける新しい生活様式に取り組んだ事業者に対して支援金を交付するものです。

11月臨時会

議案第 1 号

令和 3 年度野木町

一般会計補正予算（第 7 号）

●新型コロナウイルスワクチン接種関連経費

(4,064 万 2 千円)

新型コロナウイルスワクチン 3 回目接種関連費用として、接種券、予診票の印刷製本、個別接種委託料等の経費に充てるものです。

町道路線の廃止及び一部廃止

(路線名) 佐川野川田 1 号線 … 一部廃止
 佐川野 11 号線 … 一部廃止
 佐川野 14 号線 … 廃止
 佐川野 19 号線 … 一部廃止

県営佐川南地区土地改良事業の完了に伴う
 道路の廃止及び一部廃止です。

委員会審議結果 「可決すべき」
 本会議議決結果 全員賛成で「可決」



総務経済常任委員会での現地確認の様子

討 論

反対討論 宮崎美知子議員

※討論は本人が要約して執筆

議案第 3 号 令和 3 年度野木町一般会計補正予算（第 8 号）

債務負担行為補正の内、①あかつか児童センター及び新橋児童館管理運営委託費 ②小学校給食調理業務委託費・中学校給食調理業務委託費 について討論します。

- ① 現在の児童館等は、町職員が配置されていたころと比べても、乳幼児から小中高生、保護者や地域社会にとってなくてはならない拠点となりました。不可欠な事業を発展させていくためにも、ビジネスが介入しない方法を考えなければならない時に来ていると思います。
- ② 給食調理業務委託費は、ほぼ人件費相当額です。調理業務は体力のいる仕事ですがその働きに見合う給与ではなく、現場ではダブルワークが推奨されていると聞きます。今、非正規雇用の女性の貧困が社会問題化しています。来期は、ビジネス性を排除した業務委託で限度額一人当たり平均 370 万円をそっくり支給できる方法を町は考えなければならないのではないのでしょうか。

議案第 7 号 指定管理者の指定について

ビジネスチャンスとビジネス利益を民間企業に与え続ける指定管理は、町にも事業現場にも利益になることはないと思います。利潤追求を排除し、非公募型の指定管理を目指すべきと考え討論します。

- ① 児童館は町行政との密接な連絡調整が必要な事業です。ビジネス性の排除は、町支出を縮小しながら町民の福祉の向上に寄与する行政自身の自力と自立を強めます。
- ② 指定管理者となる団体は制度導入以来の事業者です。手続きは公正でも、なれ合いという批判が出てくる恐れがあります。来期の管理料は 9,600 万円となり、3 年前までの 3 年間より 1,600 万円増、年額 530 万円増となりますが、現場にどう反映されるのか不透明です。



折原 勝夫
総務経済常任委員長

持続可能な住みやすいまちづくりについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため先進地視察を自粛し、各種ランキングより調査地を選考、調査項目を検討した後、調査地より提供していただいた答申書面をもとに調査を行いました。

調査事項1 「日本一若いまちについて」

調査地 愛知県長久手市

【長久手市の概要】面積：21.55km² 人口：60,397人 24,948世帯（令和3年11月1日現在）

今、少子高齢化・人口減少がすすむ日本で、長久手市は「日本一若いまち」として知られており、若い世代を中心に毎年1,000人単位で人口が増えています。

市街化区域の約8割に相当する約599haの土地区画整理事業や、民間開発による宅地供給及び駅周辺の土地区画整理事業による商業街区の設定と、それに伴う大型商業施設の誘致が若者の定住につながっているとのこと。

調査事項2 「3世代住宅取得・同居リフォーム補助事業について」

調査地 奈良県王寺町

【王寺町の概要】面積：7.01km² 人口：24,179人 10,646世帯（令和3年11月1日現在）

王寺町では、平成28年から定住支援事業として3世代世帯の増加を推進し、定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化を目的に「3世代住宅取得・同居リフォーム補助事業（20万円/1件）」を実施しています。

要件は、①3世代世帯で同居または王寺町内に近居すること（リフォームの場合は同居が要件）②申請時に親世帯が継続して1年以上王寺町に在住していること③子世帯に義務教育終了前の子どもがいることで、事業効果として、①人口増加への寄与②空き家対策への寄与③介護関連費用の抑制を上げています。

調査事項3 「鳩山町コミュニティ・マルシェについて」

調査地 埼玉県鳩山町

【鳩山町の概要】面積：25.73km² 人口：13,312人 6,027世帯（令和3年11月1日現在）

鳩山町では、鳩山ニュータウン地域のアクティブ化を目的とした「鳩山町生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化事業」を進めており、町が空き店舗を取得し、各種資源を活かした多世代の活躍の促進を図るため生涯活躍促進施設「まちおこしカフェ」「シェア・オフィス」や、移住交流推進施設「移住推進センター」等が入った複合拠点施設「鳩山町コミュニティ・マルシェ」を整備しました。

1市2町の取り組みは、野木町においても、町づくりや移住定住の促進等、町の活性化を考えるうえで参考になるのではないのでしょうか。

今回の調査の成果を今後の町づくりに関する施策の参考とし、持続可能な町づくりに寄与したいと思います。





鈴木 孝昌
文教民生常任委員長

学校教育と健康福祉に関する所管事項について

閉会中の継続調査のうち、「学校教育について」をテーマに、野木町の小中学校の GIGA スクール事業の実態・現状把握を行なうため、調査研究を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、先進地視察と同様に学校訪問による事業視察等を自粛する観点から、事前に「町の GIGA スクール事業の現状について」6 項目・「町で使用している校務支援システムについて」3 項目の質問事項について、こども教育課に回答を依頼しました。

いただいた回答を参考に、さらに理解を深めるために指導主事から動画やスライド等による「タブレット活用に向けた取組みについて」のプレゼンテーションを実施していただきました。

1. 町内小中学校の GIGA スクール事業における一人一台タブレット活用状況について

- ①教員研修等の充実として、オンライン授業及び動画アップロードについての研修・一人一台タブレットの授業での活用についての研修・マイクロソフト 365 についての研修・タブレットの研修・デジタルドリル活用研修などを実施している。
- ② ICT 支援業務委託として、令和 3 年 10 月から各校 6 回、1 回 2 時間の小中学校の各クラスへの授業支援に加え、アカウント管理や年次更新作業などを委託することで、授業の効率化や先生への負担軽減を図っている。
- ③令和 3 年 10 月から学校公開日を利用し、一斉に先生と生徒がタブレット画面を通したオンライン授業でのテストを各校で実施している。さらにミニ授業や授業の振り返り、帰りの会などを実施している。

2. 町で現在使用している校務支援システムについて

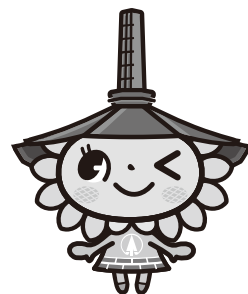
- ①児童生徒の学籍管理・成績処理（通知表や学習指導要録）の作成や出欠管理・情報伝達・特別教室使用管理・授業時数管理・教職員の出退勤時刻管理等に使用している。
- ②町内各学校の共有フォルダーにより、町内他校教職員へのメッセージの送受信が可能であり、各行事予定や給食だより・図書だより・指導案等の情報共有に活用している。
- ③校務支援システムの活用は教職員の働き方改革にも貢献している。

以上は概要ですが、丁寧なプレゼンテーションにより、紙面には書ききれない情報を得て、現状を理解することができました。野木町の小中学校における GIGA スクール事業は、学校と行政が一つになっていると共に、初めての取組みで限られた時間の中、これまでの学習環境を作り上げられた教育委員会と現場の先生方の取組み姿勢に情熱を感じました。

野木町の「GIGA スクール事業」が、次世代を担う児童・生徒の育成に結びつくためにも、より良い ICT 環境づくりができるよう、また、町民や地域社会と学校・行政が協働することにより、野木町の教育行政の発展に寄与できますよう、文教民生常任委員会としても研究して参ります。



一 般 質 問



12 月定例会では 6 名の議員が、町政に関する諸問題や将来の展望などについて、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、質問時間を 60 分から 50 分に短縮し、一般質問を行ないました。

折原 勝夫 議員 P10

1. 本町における地産地消と食農教育について

宮崎 美知子 議員 P13

1. 野木第二工業団地に立地する企業との公害防止協定について
2. 民間企業から寄付及び購入した土地について

坂口 進治 議員 P11

1. 水道施設の耐震化対策について
2. 町民の目の健康管理について

松本 光司 議員 P14

1. 3 歳児健診の視力検査について
2. 全庁の情報機器等の整備及び配置の最適化について

小泉 良一 議員 P12

1. 来年度の予算編成について
2. 町の新しい交通対策について

梅澤 秀哉 議員 P15

1. 町の災害対策の現状について
2. 移住・定住対策の現状について

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は 3 月 3 日(木)から開会予定です。

※傍聴の際は、新型コロナウイルス感染防止対策へのご理解・ご協力をお願いします。



問

子どもの健診や小中学入学時に野木町産米を配付して地産地消・食農教育の推進を

答

町の水田農業を理解するためにも
大変有効な手段として考えて参りたい



折原 勝夫 議員

問

「広報のぎ」に地産地消コーナーを設けて、旬の野菜情報や地場野菜を使用した料理のレシピ等を掲載したらどうでしょうか。

答

今後、「広報のぎ」にコーナーを作って、地産地消をPRしていきたいと考えます。

問

千葉市では、野菜のおいしい時期を知らせるために、「野菜の旬カレンダー」を作成し配布しています。

本町でも、このようなカレンダーを作成してはどうでしょうか。

答

県の下都賀農業振興事務所の力をお借りして、研究していきたいと考えます。

問

地産地消を推進するために、農産物直売所等を増やすのはどうでしょう。

横浜市では、週に2回程度、市役所内に農産物直売所を開設し、好評を得ているという事例があります。

本町でも町の地産地消推進の拠点として、役場内で農産物を提供するような企画はどうでしょうか。

答

少しでも農産物が提供できる拠点が增えることは、消費者にとって良いことだと思いますので、先進地なども参考にしながら、今後、研究してみる余地はある取組みであると考えます。

問

筑西市では、地産地消の推進を図るために、「地産地消推進店認定事業」を行い、推進店に認定された店には、市のホームページ等によりPRを行うとともに、ロゴマークの使用、認定証やのぼり旗の交付をして

おります。

本町でもこのような認定制度を導入してはどうでしょうか。

答

認定によるロゴマーク等が店頭にあれば、その店が野木町産の野菜を販売していたり、野木町産の食材を利用している飲食店であることが入店前から分かるようになると思われますので、先進地等を調査研究するとともに、商工会と連携して、協議検討していきたいと考えます。

問

佐川野小学校では、トマトを栽培し、販売促進のためのロゴマークを作るなど、生産から販売

流通までの食農教育を行って、素晴らしい成果をあげているとお聞きしております。

その取組みの教育的意義、そして今後どうしていくのか伺います。

答

トマトを栽培・収穫・販売する過程において、発生した探究問題を1つ1つ解決して行く子どもたちの力が、凄いと感じました。

子どもたちに、単なる田植えや稲刈り体験だけでなく、その収穫までのプロセスを体験して、どんなに苦労してものを作っているかを学んでほしいと思います。

是非、ほかの学校においても、このような食農教育を進めて参りたいと思っています。



子どもたちのロゴマーク

問

健康増進計画に目の健康計画を追加する考えはないか

答

健康増進計画にしっかりと反映していきたい



坂口 進治 議員

問

「第3期野木町健康増進計画」に「歯科口腔保健基本計画」と「自殺防止対策推進計画」が加わり策定されましたが、この計画に「目の健康基本計画」を追加する考えについて伺います。

答

眼科の健康保持、アイフレイルとともに、このような目の健康に関しては、今後具体的なカテゴリーを設けて、健康増進計画にしっかりと反映させられるようにしてまいりたいと思っています。

問

町民のアイフレイルの状況とその対策について伺います。

答

アイフレイルとは、加齢に伴って目が衰えてきた上に、様々な外的ストレスが加わることにより目の機能が低下した状態です。それにより健康寿命も短くなるとされており、早期発見が重要であると考えています。

国・県は対応策等を示していませんが、町としてはアイフレイルだけではなく、視力や眼底などの現在の眼科的健康管理で捉えていきたいと思っています。

目の健康は重要と考えており、健康診断の受診を推進し、「健康タウンのぎ」にふさわしいまちづくりを進めていきます。

問

埋設水道管の耐震化対策について、水道管路の老朽化を示す法定耐用年数40年を経過している割合について伺います。

答

野木町の水道管路は、多くが昭和49年から55年度にかけて布設されており、初期のものは既に45年以上経過しています。

令和3年3月現在、40年以上経過している水道本管は、延長約33キロメートルで全体の約18%です。

問

水道管路の劣化状況調査の結果と対策について伺います。

答

平成24年に策定した「野木水道ビジョン」に基づき、老朽管の布設替え等を進めてきました。

その結果、衝撃耐性や漏水等に懸念があった石綿セメント管については、平成29年度までに铸铁管等に布設替えを完了しました。

また、令和元年度と2年度に6か所のポイントを選定し、管の劣化診断及び土壌の調査を行った結果、管の腐食等が確認されたため、ボルト・ナットの交換や腐食部の塗装、被覆などの対策を実施しました。

今後も継続して管理していきます。



問

来年度予算の重点施策は何か

答

安全安心のまちづくり・少子高齢化対策・町の活性化策の3重点施策



小泉 良一 議員

問

3重点施策の目玉となる事業は何か伺います。

答

全町避難訓練、消防ポンプ自動車の買替え、逆川排水機場の耐震補強工事、機械設備、電気設備の改築工事を予定しています。次に、GIGAスクール構想推進事業、中谷土地改良事業、いちご一会とちぎ国体事業です。

問

令和4年度の予算規模はどの程度を想定していますか。

答

国体事業の開催年となり、多額の経費が想定されます。基金の繰入をして、令和3年度と同程度と見ています。

問

コロナ禍で執行出来なかった事業は何か、次年度は実施するのか伺います。

答

全町避難訓練や産業祭、駅伝大会、いちご一会とちぎ国体リハーサル大会等は中止し、ひまわりフェスティバルは規模を縮小して行いました。次年度も継続していく考えで、予算編成をしていきます。

**問**

町の交通対策、デマンドタクシーの現状について伺います。

答

現在セダン型2台、ワゴン型1台で、8時から16時まで運行しています。

問

最終便が16時ですが、延長する考えはありますか。

答

委託先の社会福祉協議会の体制やタクシー業界の厳しい状況から、延長は難しい課題ですが、まずは30分だけでも延長できないか検討していきたいと考えています。

問

土日・祝日の運行について伺います。

答

タクシー会社の経営との兼ね合いから難しいことではありますが、継続して協議してまいりたいと思います。

問

友愛記念病院の復路便の実現見込みはあるのか伺います。

答

古河市ハイヤー運営協議会との協議を継続するとともに、友愛記念病院付近の道路にデマンドタクシー乗降場を設置できないか検討したいと考えています。

問

希望の時間帯に予約が取れない方のデータは取っていますか。

答

満員で乗れなかった方が216回で、特に8時30分便から11時便の間、13時便と13時30分便で予約が取れない傾向があります。

問

AI配車システムを導入した場合、どのような効果が見込まれるのでしょうか。

答

下野市の例にもありますが、スマートフォンによる予約対応などで利便性が向上し、希望の時間帯の予約も取りやすくなると想定されます。

問

杏林製薬(株)研究所跡地の
今後の活用計画を伺う

答

町民の憩いの場として
どう活用できるか研究したい



宮崎 美知子 議員

問

平成28年に町は、杏林製薬(株)研究所跡地の一部を寄付として受け入れ、一部を1,110万円で購入したが、使い道がなく、全く手が入らず荒れた状態です。何もやらないのであれば、寄付の申入れを断るべきでした。今後の活用計画について伺います。

答

寄付部分は池があった所で、購入は駐車場と旧テニスコートがあった所です。テニスコート地下には野木小のプールの排水管が埋設されており、外せないので購入しました。町民の憩いの場としての活用を研究して参りたいと考えています。

問

第一種低層住宅専用地域(住専地域)の眼前に立地する企業との、公害防止協定に関し伺います。野木第二工業団地に建設中の物流センターは、当該企業最大規模とされており、操業時間が深夜延長される可能性も否定できないなか、住民の不安は相当なものがあります。協定で町が重視している条項は何でしょうか。

答

町独自の項目として、建物と市民農園の間に常緑の高木を植えること、公害防止のための必要事項の報告や、町職員の事業所内立ち入り調査に協力する約束です。



住専地域から見える野木第二工業団地

問

高木植栽は条例に基づくものです。住民が不安視している騒音・振動・光害等に対し、企業と折り合いをつけた内容の協定(案)になっていないと思われます。この点はいかがですか。

答

工業団地は、昼間：75、夜間：60デシベルの騒音規制基準があり、住専地域は、昼間：55、夜間：45デシベル以下の環境基準が設定されています。住専地域の環境基準が守られるよう企業にはお願いして行きたいと思います。

問

公害防止協定は、操業によって影響を受ける隣接住民のためのものであり、住民がほぼ納得できる内容でなければならないと思います。住民の懸念・要望への企業の対応状況を伺います。

答

企業にお伝えし協議をしています。企業からは、配慮する部分は配慮し出来ない部分はないということで住民にも説明しています。

問

当該企業が操業している杉戸町は、建設着工2か月前迄に公害防止対策計画書を提出させ、必要ならば住民も入れて話し合い、皆が納得した形で協定を締結しています。野木町はこの様な手続きは取っていませんが、町はもっと努力すべきで、協議に町長も出ていただきたいと思います。どうお考えですか。

答

今後も、今の形で進めていければと思っています。

問

3歳児健診の視力検査に 屈折検査機器を導入する考えは

答

導入に向けて 予算要求していきたい



松本 光司 議員

問 3歳児健診の視力検査の現状について伺います。

答 町では、視力検査の方法として4種類の図柄を使用し、左右それぞれ2つ以上見えない場合、精密検査が必要なお子様には保護者に専門の医療機関で受診するよう勧めております。

問 この簡易的な視力検査では、弱視の子どもはもともと見えにくい状況が当たり前として育ってきているため、「見えない・見えにくい」はほとんど答えられず、異常を見逃す可能性が考えられます。

子どもの目は、6歳ぐらいまでに目の機能の発達がほぼ完成すると言われ、3歳児健診の視力検査で異常を発見し幼児期に治療すれば、回復が期待できるとのことです。

厚生労働省は、数秒で異常を自動判定し弱視の検出率が大幅に向上する、屈折検査機器購入費1/2の補助を来年度予算の概算要求に盛り込み、普及を加速化する方針です。

そこで、国の予算要求が通過した際には、屈折検査機器を導入する考えはありますか。

答 前向きに、検討したいと思います。

問 導入にあたり、屈折検査の結果が陽性の疑いのある子どもの精密検査は、眼科医になります。

しかし、野木町には眼科医院がありません。

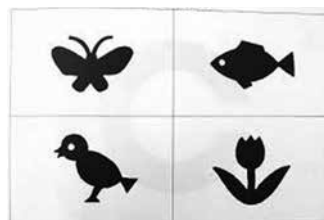
そこで、小山地区医師会や古河医師会には、どのように対応するのでしょうか。

答 3歳児健診の際の眼科健診及び精密検査の体制を含め、小山地区医師会、町医師団と調整が必要と思います。古河医師会にも、必要に応じて説明をしたいと思います。

実際に、子どもたちを診察しているのは町医師団の先生方ですので、導入を検討する際は町医師団の先生方に説明したいと考えております。

問 それでは、国の予算が通過し町医師団の了承が得られれば、導入すると理解してよろしいですね。

答 その際には、導入に向けて予算要求をしていきたいと思っております。



【4種類の図柄】



【屈折検査機器】

問 全庁の情報機器等の最適配置によるコスト削減について、コピー機の1枚当たり単価が近隣自治体と比べ4～5倍高いので単価の見直し、及び稼働率が現場の使用実態に適合した機種を選定による最適配置の見直しを求めます。

答 全体的な見直しの中で、検討していきたいと思います。

問

災害時の非常用電源として
町公用車に電気自動車の導入を

答

自動車ディーラーとの
災害協定の締結と併せ検討する



梅澤 秀哉 議員

問 電気自動車(EV車)は、1台でおおよそ1家庭の4日分の電力が賄えます。

災害時の非常用電源として、町の公用車の交換時にEV車を導入してはどうでしょうか。

答 脱炭素社会の流れもあり、買い替えの際には検討してまいります。

また、栃木市や下野市が自動車ディーラーと災害時のEV提供の協定を結んでいますので、本町としてもこのような災害協定を締結できるか検討し、今後進めていくところです。

問 国・県も河川の堤防整備といったハード中心から、流域全体で雨を受け止めて被害を減らす流域治水にシフトしています。

住民の流域治水の意識を高めるため、住宅の雨水貯留タンクの設置補助ができませんか。

答 雨水貯留タンク等の設置は、流域治水の考え方に沿ったものです。町としても、現在、他市町の制度などを参考に研究を進めているところです。

問 平成31年4月に配布されたハザードマップでは、洪水の想定最大規模の場合、新橋区西側や松原区住民の避難先は、公民館、体育センター、南赤塚小となっています。

野木二中を避難所として開設するかどうかの判断は、どのように行っていますか。

答 ハザードマップでは、最大規模の洪水を想定した場合、野木二中周辺は最大浸水深が0.5～3m未満の部分が出ます。

気象庁の予報や国交省からの情報を判断材料として、思川流域の48時間総雨量が306ミリを超える予報が出た場合、野木二中は避難所として開設いたしません。

問 避難所の開設には人手が不足すると思われます。町職員と住民の自主防災組織合同での避難所開設訓練が必要だと思いますが、どのように考えていますか。

答 避難所の開設・運営にはかなりの人手が必要で、自主防災組織のご協力が必要不可欠です。町としても自主防災組織の防災訓練や避難所開設訓練を支援していきます。

また、全町避難訓練が可能となりましたら、自主防災組織の皆さまとの連携を図りながら実施できればと考えています。



自主防災組織の避難所開設訓練

問 移住定住人口を増やすには、教育機関の誘致など、今までと違った発想も必要だと思います。

若者の流動人口の増加が町の活性化に繋がるとは思いますが、いかがでしょうか。

答 大学など、今は地方から都心回帰しているところもあります。

教育機関の誘致には多額の経費や国・県との協力も必要です。財政基盤の強化が一番だと思いますので、工業団地等の開発を進めて行きたいと考えています。

令和3年12月定例会の各議案に対する賛否（議長を除く）

（賛否の分かれた案件のみ記載しています。他の案件は全員賛成で可決されました。）

議案等	宮崎美知子	眞瀬 薫正	長澤 晴男	館野 孝良	館野 崇泰	鈴木 孝昌	坂口 進治	黒川 広	折原 勝夫	小泉 良一	松本 光司	小川 信子	梅澤 秀哉	賛成	反対	採決結果
令和3年度野木町一般会計補正予算（第8号）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決
指定管理者の指定 ※あかつか児童センター及び新橋児童館	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	1	可決

※表内の○は賛成、×は反対



議会の主な活動記録

令和3年

10月 18日 第6回野木町議会臨時会
 11月 5日 総務経済常任委員会
 文教民生常任委員会
 9日 議会全員協議会
 18日 議会運営委員会
 24日 議会全員協議会
 25日 栃木県町村議会議員研修会
 30日 第7回野木町議会臨時会
 12月 3日 第8回
 ～10日 野木町議会定例会
 10日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 24日 議会全員協議会

令和4年

1月 12日 議会全員協議会
 予算決算常任委員会
 25日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 第1回野木町議会臨時会

* 編集後記 *

令和4年、壬寅（みずのえ・とら）の歳が明け、早1か月が経ちます。皆様におかれましては、厳しい冬を耐えしのび日々をお過ごしかと存じます。

本町議会は昨年末に臨時会、並びに定例会を開き、町長（執行側）が出した町政の諸課題について、各議員も皆様からの使命を背に、質問・採決に挑みました。今号はその模様を記録したものです。

「寒さが厳しい程、華々しく開花する」とされる壬寅は、420年前、江戸幕府の開幕前夜だったそうです。今年は天皇陛下をお迎えし、とちぎ国体が開催されます。成功させる事も然り、皆様お一人のご健康なくして成し得ません。

幸多き一年であります事をお祈りしています。

議会だより編集委員 館野 崇泰

野木町議会のページ



（野木町公式 HP 内）

議会の情報はこちらから
ご覧いただけます。

野木町議会

検索

URL :

<http://www.town.nogi.lg.jp/page/dir.000066.html>

《編集発行 議会だより編集委員会》

委員長 小川 信子 副委員長 梅澤 秀哉
 委員 宮崎美知子 委員 館野 崇泰
 委員 鈴木 孝昌 委員 坂口 進治

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町丸林 571

TEL 0280-57-4106 FAX 0280-57-4190

E-mail : gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp